

総合計画 体系	事務事業名	県単ため池安全確保事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	農林道G	課長名	細木 浩之
	施策名	<36>農業の振興	担当者名	江角 望	電話番号	0854-40-1053
	目的 対象	市内の農家 意 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業: 大事 0:1:3:0:0:2:業名 土地改良事業 項 目 中事業: 中事 0:5:5:5:1:5:業名 県単ため池安全確保事業	(内線)	2401
基本事業名	<108>農業基盤の保全	目的 対象	担い手農家・担い手以外農家 意 農業の生産性を維持・向上できるようにする。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
国庫補助事業要件に当たらないが老朽度合 いが高い危険なため池について、県単補助 事業制度を活用し、ため池の改修を行う。 (改修内容:ため池の堤体、洪水吐、取水施 設等、老朽箇所の応急整備や堤防の切り下 げ、ため池の廃止等)
採択要件は 国庫補助事業の要件を満たさない整備 事業費は1,000千円以上8,000千円以下 貯水量が300m3以上のため池 想定被害が、家屋、国・県・市道、河川、公 共施設等におよぶもの
補助率は 県 67% 市町村 32% 農家負担 1%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 現地確認 実施測量 工事施行	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 現地確認 実施測量 工事施行				
	三刀屋町高窪地内 蛇の原地区 大東町西阿用地内 吉田地区 木次町平田地内 金廻1号地区 加茂町大西地内 与一谷地区	三刀屋町根波別所地内 桜ヶ廻地区 大東町西阿用地内 吉田地区(繰越分)				
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
ア	事業費	千円	8,009	7,258	15,980	14,018
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標						
	雲南市内の老朽化したため池	ア	調査ため池	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
		イ	改修ため池	箇所	2	1	4	1
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標							
ため池決壊などによる被害の未然防止を 図ることができ、ため池下流域での安全・ 安心が確保される。	ア	改修済みため池	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
	イ		箇所	2	1	3	2	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
ため池改修4箇所(1箇所工事繰越)	財源内訳	千円				
工事費 11,693千円	国庫支出金	千円				
委託料 4,071千円	県支出金	千円	5,293	4,824	10,551	9,148
事務費 216千円	地方債	千円	2,600	2,300	5,200	4,600
計 15,980千円	その他	千円	79	72	147	122
	一般財源	千円	37	62	82	148
	事業費計(A)	千円	8,009	7,258	15,980	14,018
	人員費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	50	50	100	
	人件費計(B)	千円	196	198	408	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,205	7,456	16,388	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時 期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対し て市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
県内5004カ所の農業用ため池のうち、25 0箇所の整備済みを除き、老朽化が進んで いる。そのハード対策として25年度に新規 創設された補助金事業である。	特になし。	近年ため池管理者の高齢化により、適切な維持管 理が行われることが少なくなったこともあり、ため 池の老朽化が進行し、災害発生の危険性が高 まっている。

事務事業名	県単ため池安全確保事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	県制度の基準に基づく計画及び改修をしており向上の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	受益者やため池所有者が全てを負担しての改修になり負担が重くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	理由
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		国庫補助事業の対象とならない危険ため池の改修事業はこれのみである。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	地元調整や現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	現地を確認したうえでの緊急性を考慮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な予算執行に努めた。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
今後も同様に適正な執行に努める。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						